



懐縁(かいえん)

コンセプト:自分が今見ている景色を記憶に残せる、もしくは、あの頃の記憶を思い出させるように、日本建築特有の縁側や壁などの建物の縁を活用する設計手法です。桜や紅葉などの四季を感じることができる植物が植えられている場所で効果を発揮します。

デザイン:風通しの良い設計にしたことに加え、居間は畳敷きとし、桜や葉が落ちるときに川を流れているように見える壁を配置することで「和」を引き立たせ、日本特有の四季を強調します。

効果:畳の匂いがする空間で四方向から異なる景色を見ることで、印象に残る四季を感じられます。

